PEACE, HEALTH & HUMAN DEVELOPMENT
公益財団法人ＰＨＤ協会

Peace, Health & Human Development
平和と健康を担う人づくり

2014 年度　事業報告
（2014.4 ～ 2015.3）

◆研修事業　p.2-6
◆啓発事業　p.7-9
◆2014 年度決算　p.10

在りし日の今井前理事長、研修生とともに

事務所を移転しました

理事長挨拶

理事長　水野雄二

いつもＰＨＤ協会に惜しみないご支援をいただいている皆様に、2014 年度の事業報告をお届けすると共に、改めて感謝を申し上げます。皆様のお支えにより、2014 年度もミャンマー、ネパール、インドネシアからの研修生を迎え、実りある一年を過ごすことができました。また、多くの皆様とも交流の場を通して、私たちの生き方を問う機会も持つことができ感謝いたします。

さて、この年度、私たちの偉大な指導者であった今井鎮雄前理事長が 11 月 3 日に逝去されました。ＰＨＤ運動の提唱者である岩村昇先生と共に、この協会の設立から今日に至るまで理事長としてご指導いただきました。改めて今、今井先生が「平和と健康を担う人づくり」を目指してＰＨＤ協会を育ててこられたことを思い、継承する意義と責任を痛感するものです。今後更なる皆様のご支援をお願い申し上げます。

事務局報告

主任主事　坂西卓郎

2014 年度は設立以来理事長としてお支えいただいた今井前理事長がお亡くなりになるという悲しい出来事がありました。改めてご冥福をお祈りするとともに、今井先生の御遺志を継いで、原点を忘れずに活動を継続していきたいと思います。

事務局としての大きな出来事に事務所の移転が挙げられます。約 30 年慣れ親しんだ事務所を移転するのは苦渋の決断ではありましたが、研修生が寝泊りできる場所がどうしても必要だったため、実行に移させていただきました。移転後、研修生と泊り込みの研修を行うなど、今までできなかった新しい取り組みも可能になり、より充実した研修の実施が実現できています。

水野新理事長のもと、本年も延べ 5000 名弱の方に事業にご参加いただき、研修を実施できたことに感謝を申し上げます。

研　修

（1）第 32 期研修生

ネパールからは、ピンタリ村にお母さんグループを立ち上げた一人であるムク・マヤ・タマンさんが来日しました。研修テーマは有機農業や保健衛生、住民組織化、協同組合、洋裁、など多岐に渡りました。

ミャンマーのタダインシェ村からはお坊さんが運営する学校で先生をするサントゥンウーさんが来日。日本では有機農業の他、保育園や小学校にて保育や教育についての研修に力を入れました。

インドネシアからはタベ村のポシアンドゥ（母子保健）を担っているメラティ・アフリダさんを招へい。主に保育、保健衛生、そして洋裁の研修を行いました。その中でも特に口腔衛生について学びました。

メラティ・アフリダさん

（インドネシア・37 歳・女性）
推薦団体：ＰＨＤ研修生グループ
研修テーマ：保健衛生、洋裁
協同組合、住民組織化

4-5 月 兵庫県
　神戸市／山岡哲雄さん・真理子さん（滞在）
6 月　西宮市／はらっぱ保育所（保育）
　神戸市／高木育代さん（洋裁）
7 月　神戸市／杉の子保育園（保育）
　神戸市／赤坂真砂さん（洋裁）
8 月　養父市／太陽保育園（保育、調理）
9 月　佐用郡佐用町／真柴三幸さん（牛の飼料、堆肥）
　島根県
　松江市／松江市保健福祉総合センター（保健全般）
10 月 兵庫県
　高砂市／ステップハウス（ハンディキャップガイド）
11 月　神戸市西区／尾崎食品（大豆の加工）
12 月　三木市／三木市総合保健福祉センター（保健衛生）
　神戸市東灘区／赤坂真砂さん（洋裁、編物）
　加古川市／杉浦和美さん（滞在）

洋裁を基礎から学ぶ

口腔衛生の指導法を勉強中

サントゥンウー（サントゥン）さん

（ミャンマー・23 歳・男性）
推薦団体：ＰＨＤ研修生グループ
研修テーマ：有機農業、保育、
協同組合、住民組織化

4-5 月 兵庫県
　神戸市／葛原時寛さん・香織さん（滞在）
6 月　豊岡市／寺田正文さん（野菜・米）
　神戸市西区／のぞみ保育園（保育）
7 月　神戸市西区／渋谷冨喜男さん（野菜・肥料）
　神戸市北区／藤井誠次さん（養鶏・野菜）
　佐用郡佐用町／真柴三幸さん（飼料・肥料）
8 月　養父市／上垣敏明さん（野菜、養鶏、養蜂）
9 月　神埼郡市川町／牛尾武博さん（養鶏・野菜）
　愛媛県
　松山市／泉精一さん（土壌改良・肥料）
10 月 兵庫県
　豊岡市／寺田正文さん（野菜・米・食品加工）
　匿名／小学校（教育）
11 月　三田市／中西郁さん（椎茸）
1 月 大阪府
　羽曳野市／西浦小学校（教育）

鶏の発酵飼料の作り方を勉強

保育研修の様子

ムク・マヤ・タマンさん

（ネパール・29 歳・女性）
推薦団体：ＳＡＧＵＮ
研修テーマ：保健衛生、有機農業、
協同組合、住民組織化

4-5 月 兵庫県
　高砂市／前田明子さん・千恵さん（滞在）
6 月　篠山市／ささやま子ども園（保育）
　愛知県
　名古屋市／たかくら幼児園（保育）
　名古屋市／しょうぶ苑（高齢者介護）
　名古屋市／熱田区社会福祉協議会（会議の運営）
7 月 兵庫県
　篠山市／円谷豊子さん（野菜、米）
　神戸市東灘区／赤坂真砂さん（洋裁、編物）
　養父市／上垣敏明さん（野菜、養鶏）
8 月　養父市／太陽保育園（保育、調理）
9 月　高砂市／ステップハウス（ハンディキャップガイド）
　山口県
　下関市／あい・ネパールの会（洋裁、編物）
　兵庫県
　丹波市／橋本慎司さん（有機農業全般、養鶏）
10 月　養父市／上垣河大さん（お菓子作り）
11 月　篠山市／丹南健康福祉センター（保健衛生）
12 月　三木市／三木市総合保健福祉センター（保健衛生）
　神戸市東灘区／赤坂真砂さん（洋裁、編物）

有機農業研修

高齢者対象の健康体操について学ぶ

◆共通研修◆

4-5 月 兵庫県
　神戸市中央区／神戸ＹＭＣＡ学院専門学校（日本語）
　西脇市／西脇指導者会
6 月　豊岡市／但馬指導者会
11 月　神戸市東灘区・三木市／生活協同組合コープこうべ
　全 3 回（協同組合）
12 月 大阪府
　大阪市西成区／旅路の里（釜ヶ崎の歴史や現状）
　兵庫県
　神戸市西区／なでしこ歯科　全 2 回（口腔衛生）
　宝塚市／食品公害を追放し安全な食べ物を求める会
　（消費者組合）
2 月　淡路市／北淡震災記念公園（防災）
　南あわじ市／山口勝弘さん（果樹）
　洲本市／淡路島モンキーセンター（残留農薬の弊害）
　神戸市中央区／ＰＨＤ協会（住民組織化研修）
　豊岡市／但馬指導者会
　西脇市／西脇指導者会

研修指導者でもある生産者から消費者組合に届いた野菜を仕分けする

◆東日本研修旅行◆（11 月 9 日～ 20 日）

愛知県／トヨタ自動車労働組合、アーユス東海･想念寺、星城中学校、小牧幼稚園
長野県／日本キリスト教団松本教会、塩尻めぐみ幼稚園、信濃むつみ高等学校
山梨県／山梨英和中学校、山梨ＹＭＣＡ
東京都／ロータリー米山記念奨学会、全日本自動車産業労働組合総連合会、アーユス仏教国際ネットワーク・勝楽寺、日本労働組合総連合会、外務省民間援助支援室、生協総合研究所、桜美林大学
神奈川県／地球の木、山崎・谷戸の会、こどもの広場もみの木クラブ
岐阜県／日本キリスト教団中濃教会、国際ソロプチミストかかみ野
静岡県／東海大学　＜敬称略＞

中濃教会での交流会

◆西日本研修旅行◆（1 月 10 日～ 24 日）

鹿児島県／かごしま有機生産組合、だるま保育園、蔀島小学校、出水スローカルチャースクール
熊本県／水俣病センター相思社、ガイア水俣、エコネットみなまた、ほっとはうす、熊本ＹＭＣＡ、菊池恵楓園

福岡県／祝町小学校、旭ヶ丘会館、アジアを考える会・北九州、藤松市民センター、到津の森公園
山口県／梅光学院大学・高等学校・中学校、岩国みなみワイズメンズクラブ
広島県／平和学習、共生庵、仁賀小学校、三良坂小学校、灰塚小学校、灰塚コミュニティセンター交流会
岡山県／YMCAせとうち、学童保育うのクラブ、岡山御津キリスト教会
＜敬称略＞

広島での平和学習

◆県内研修報告会◆

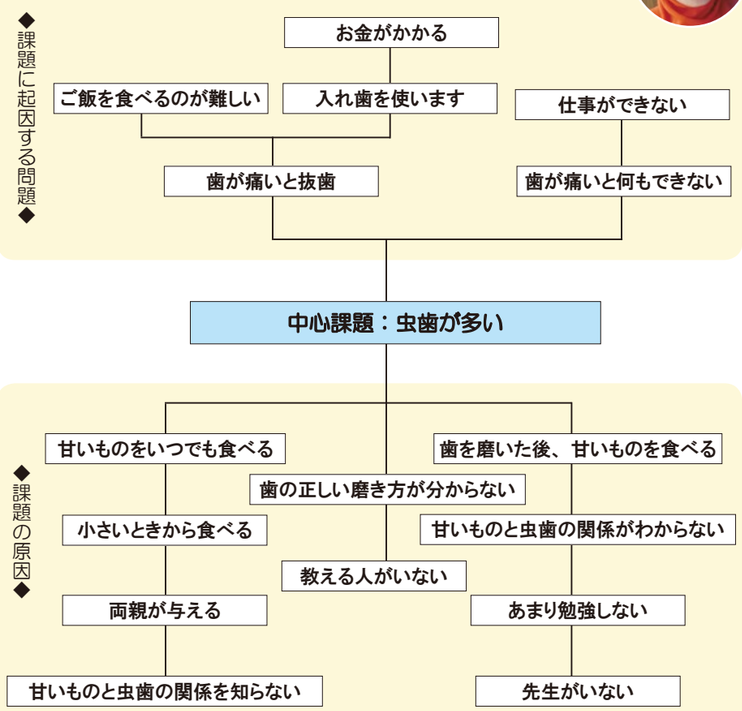
養父市／但馬PHD指導者会
加東市／加東市連合婦人会
西脇市／研修指導者会
＜敬称略＞

西脇指導者会にて研修生たちによる挨拶

◆アクションプラン◆

個別研修、共通研修を終えた後、32 期生たちは帰国後の村でのアクションプラン（活動計画）を考えました。次の図は研修生たちが作成した出身村の課題分析と活動目的との因果関係を視覚化したものです。

タベ村の問題系図



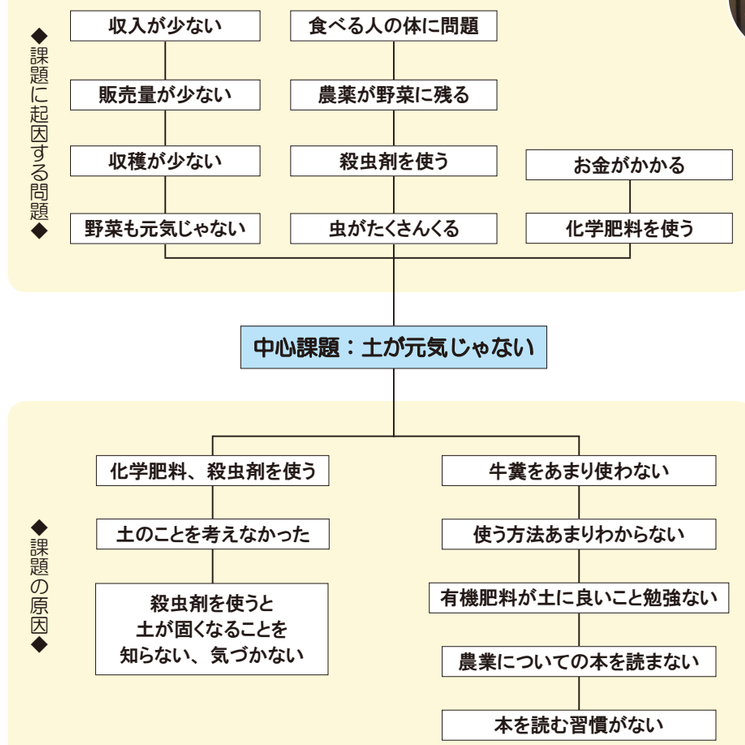
メラティさんの活動計画

「虫歯の原因の啓発」

メラティさんが村の大きな課題の一つとして取り上げたのが「虫歯」。村人の多くは虫歯の悩みを抱え、治療せずに放置しています。歯が痛むと畑仕事などにも支障をきたし、また入歯など出費にもつながります。

メラティさんは日本で虫歯のメカニズムやその原因を学び、村人の中で虫歯の人が多い理由として「甘いものを常に食べる」「歯の正しい磨き方を知らない」「歯磨き後に甘いものを食べる」の三つに着目しました。いずれも歯の健康に対する知識不足が原因です。村の健康を担うカデール（村の保健師）としてメラティさんは、月に数回行うポシアンドゥ（母子保健活動）の際に村人に研修で学んだ口腔衛生を普及し、少しずつ虫歯の予防を啓発したいと考えています。

タダインシェ村の問題系図



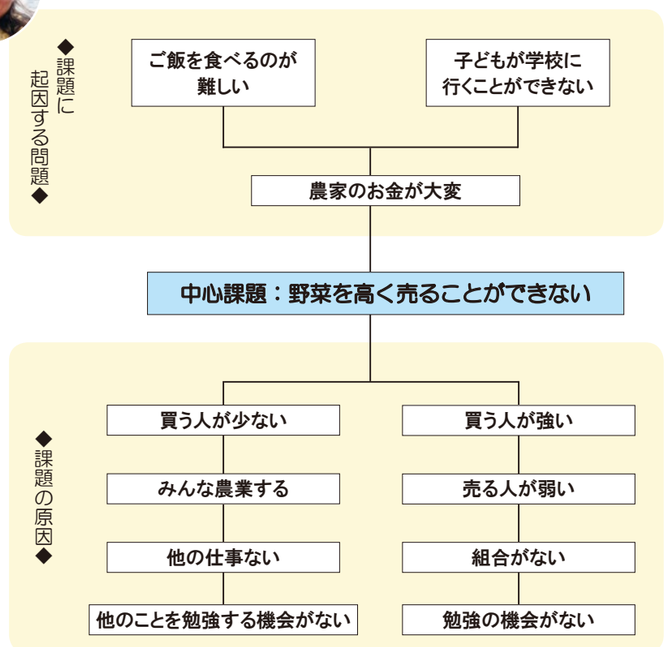
サントゥンさんの活動計画

「モデルファームを作ること」

サントゥンさんにとって村の中心課題は「村の畑の土が元気ではない」こと。これは化学肥料や農薬を使用することと、有機的な肥料を使用しないことによる土壌の劣化と考えています。よって村人たちに有機農法の考え方やその技術を広めたいと考えています。

しかしサントゥンさんはまだ若いので、村の人たちの理解を得るのは困難です。そこでまずはサントゥンさん自身が日本の有機農業研修で学んだことを実践し、「モデルファーム」を作ります。それを村人に見てもらい、その良さを実感してもらうことによって、有機農法への理解を求めたいと考えています。

ピンタリ村の問題系図



ムクさんの活動計画

「村人と一緒に組合の勉強をする」

ムクさんにとって村の中心課題は「村で作る野菜が、市場で安く買いたたかれてしまう」こと。村人が市場で卸しても、安価でしか売れず、生産者の生活が困窮状態に陥っているとのことです。そこで、村人が個々人で野菜を卸すのではなく、組合として売ることにより、買う側とより対等な関係を構築できるのではないかと考えました。

そのためにもまずは村人が組合について知る必要があり、村で組合についての勉強会を開催しようと考えました。ムクさんは日本での組合研修を活かし、自らが組合について教えるのではなく、自分も村人と一緒に勉強することにより、村人の理解を得ようとしています。

◆海外比較研修旅行◆（3 月 11 日～ 17 日）

一年間の研修の総まとめとして、インドネシア西スマトラ州ソロ郡タランバブンゴにて、帰国してから地域活動に取り組んでいる研修生たちの活動を学びました。

研修生が主体となったさとうきび工場やバイオガスの取り組みからどのように地域に働きかけているかを学び、今後の地域活動を共に考える時間を持ちました。

新たに設置したバイオユーリンの見学

（2）短期研修生（10 月 26 日～ 11 月 1 日）

2006 年度以来となる短期研修生を招へいしました。再開第一号としてネパールのピンタリ村からクンジュマヤ・タマンさんに来てもらい、約 1 週間という短い期間ではありましたが、研修を実施しました。

短期研修生招へいの目的は、地域で社会的影響力のある方に来ていただき、帰国後に元研修生たちとの連携や、活動の後押しをしてくれることになります。クンジュマヤさんは 32 期研修生ムクさんが所属する母親グループの代表をしており、帰国後は協働が大きく期待できる方でした。研修後は「ネパールで受けた 10 年の教育よりも意味のある 1 週間だった。何歳になっても学べるということを感じた」と語ってくれました。

＜研修・交流先＞

兵庫県
- **篠山市**／円谷豊子さん（有機農業）
- **三木市**／三木市総合保健福祉センター（保健衛生）
- **伊丹市**／サマンタ反差別草の根交流の会（人権）

大阪府
- **大阪市西成区**／旅路の里（釜ヶ崎の歴史や現状）
- **豊中市**／とよなか人権文化まちづくり協会（人権）、とよなか男女共同参画推進センターすてっぷ（人権）、豊中市会議員熊野以素さん（市会議員の役割）

京都府
- **宇治市**／西小倉中学校（交流会）

釜ヶ崎にて日本の課題について学ぶ

（3）選考・フォローアップ・調査

訪問した 5 ヵ国において帰国研修生のフォローアップを行いました。ミャンマーではＰＨＤ基金を活用し、村人たちが独力で建設した図書館に新たにトイレを建設しました。

またネパール、インドネシア、ミャンマーでは 33 期研修生の選考を、インドネシアでは短期研修生の選考も実施しました。

訪問国	日程
ネパール	7 月 26 日～ 8 月 5 日
ミャンマー	8 月 20 日～ 29 日
インドネシア	9 月 8 日～ 17 日
フィリピン	10 月 2 日～ 5 日
タイ	11 月 28 日～ 12 月 7 日
ミャンマー	12 月 4 日～ 10 日
ネパール	12 月 26 日～ 31 日
インドネシア	2015 年 3 月 11 日～ 18 日

◆ 33 期研修生の選考と結果◆

ネパール・カブレパランチョーク郡

応募者の出身村と人数	タクレ村：女性 3 名、男性 1 名	
選考結果		カンチ・マヤ・タマンさん（27 歳・女性）

インドネシア・西スマトラ州

応募者の出身村と人数	タベ村：男性 1 名、カユジャングイ村：男性 4 名	
選考結果		シャフルルさん（通称：ゾンさん）（36 歳・男性）

ミャンマー・マンダレー管区

応募者の出身村と人数	イェボ村：女性 4 名 タダインシェ村：女性 3 名、男性 1 名	
選考結果		サンティダエーさん（20 歳・女性）

◆短期研修生の選考結果◆

出身村	インドネシア西スマトラ州・タベ村	
選考結果		アイニスマルさん（通称：ニニさん）（43 歳・女性）

啓　発

◆広報活動◆

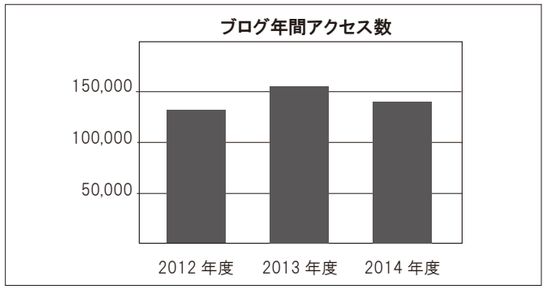
当会の活動について幅広く情報発信し、媒体ごとに質の向上をはかりました。会報･事業報告書はページ数を増やし、より研修生や当会の活動を深く発信できるようにしました。また、ホームページやブログの更新には国内研修生が積極的に関わり、ネットでの情報発信にも力を入れました。

会報・パンフレット等
PHD LETTER（126，127，128 号）、研修生・活動紹介チラシ、事業報告

新聞
神戸新聞（6 月 1 日、8 月 20 日、2 月 4、10 日、3 月 9 日）

他団体会報等
City Life Kobe 7 月、週刊新社会 10 月、コープこうべ「Piu」3 月号

他団体ＨＰ・メールニュース等
国際協力マガジン、スタディツアーパスポート、神戸国際協力交流センター、JANIC、JICA Partner、ひょうごボランタリープラザ、市民国際プラザ、関西NGO協議会、アーユス仏教国際協力ネットワーク



◆講演・交流会◆

より多くの方々に研修生に出会って頂き、当会の活動への理解を得られるよう、今年度も各地での講演･交流会には、研修生と職員が一緒に出向くことに努めました。ご参加いただいた方々は、5,400 名を超え、そのうち約 4,000 名の方々に研修生を直接ご紹介することができました。また、インドネシアのパダンにあるＡＫＢＰ大学で講演を行いました。

＜講演・交流先＞

三重県／伊勢市生涯学習センター
滋賀県／滋賀市立打出中学校
京都府／宇治市立西小倉中学校、龍谷大学、府立洛北高等学校、
大阪府／コープ茨木白川レインボースクール、羽曳野市立西浦小学校、大阪堺ワイズメンズクラブ
兵庫県／神戸市シルバーカレッジ、聖和短期大学、国際ソロプチミスト神戸、神戸学院大学、加古川平成ロータリークラブ、阪神シニアカレッジ、神戸市立淡河小学校、加東市連合婦人会、コープ但馬レインボースクール、篠山ロータリークラブ、明石北ロータリークラブ、加古川ロータリークラブ、姫路東ロータリークラブ、明石ロータリークラブ、コープ神吉レインボースクール、コープ塩谷レインボースクール、コープ高砂レインボースクール、WFWP国際協力シンポジウム、川西市立清和台中学校、県立国際高等学校、高砂市立阿弥陀小学校、関西学院大学、のぞみ保育園、親和女子大学、関西学院高等部、県立高等学校教育研修会家庭部会、県立但馬農業高等学校、淡路市立北淡中学校、南あわじ市立灘小学校
海外／AKBP大学　＜敬称略＞

講演・交流会等の参加者数	
研修生来日報告会	51 名
研修生帰国報告会	60 名
交流会	1,460 名
東日本研修旅行交流会	604 名
西日本研修旅行交流会	733 名
講義・講演	2,528 名
合計	5,436 名

コープ塩谷でのレインボースクール

パダンにあるAKBP大学にて講演

◆スタディツアー◆

帰国した研修生の村を訪ね、村の生活を体験し、研修生の活動から学ぶことで、国際協力や開発のありかたや日本での生活について考える旅を実施しました。諸事情によりスタディツアーの開催は、ネパール訪問のみとなりましたが、ミャンマー、インドネシア、タイへの職員の海外出張、及び 3 月のインドネシア比較研修旅行に研修指導者の方やボランティアの方が同行下さいました。

村の子どもたちと（ネパールスタディツアー）

訪問国	期間	参加・同行者数
ネパール	7 月 26 日～ 8 月 5 日	3 名
ミャンマー	8 月 20 日～ 29 日	3 名
インドネシア	9 月 8 日～ 17 日	1 名
タイ	11 月 28 日～ 12 月 7 日	2 名
インドネシア	2015 年 3 月 11 日～ 18 日	1 名

◆学生の受け入れ◆

国際協力やＮＧＯに対する理解を深めてもらうため、大阪経済大学の学生３名をインターンとして受け入れました。

◆第 18 期国内研修生◆

国内における人材育成を目的として、研修担当・啓発担当の国内研修生を１名ずつ受け入れました。国内では海外からの研修生と共に研修を受け、学びと気づきを共有しました。また、他団体の行事への参加や事務所内での活動を通じて、国際協力やＮＧＯの運営などについて理解を深めました。海外研修ではネパール、ミャンマー、タイを訪れ、帰国した研修生たちの活動現場を経験しました。

工藤成美さん（女性・25 才・研修担当）

研修期間：5 月 1 日～ 2015 年 3 月 31 日

研修先：JICA－NGO連携による参加型コミュニティ開発研修、関西NGO協議会インターン研修、円谷豊子（野菜・米）、ネパールスタディツアー、ミャンマー出張、橋本慎司（有機農業全般、養鶏）、真柴三幸（発酵飼料）、東日本研修旅行、なでしこ歯科（口腔衛生）、旅路の里（釜ヶ崎の歴史や現状）、西日本研修旅行、北淡震災記念公園（防災）、淡路島モンキーセンター（残留農薬の弊害）、山口勝弘（果樹）、北淡中学校交流会、灘小学校交流会　＜敬称略＞

龍谷大学でワークショップを実施

吉川美華さん（女性・45 才・啓発担当）

研修期間：5 月 1 日～ 2015 年 3 月 31 日

研修先：JICA－NGO連携による参加型コミュニティ開発研修、西脇指導社会、PHD但馬指導者会、関西NGO協議会インターン研修、淡河小学校交流会、加東市連合婦人会交流会、ネパールスタディツアー、ミャンマー選考・フォローアップ出張、上垣河大（お菓子作り）、タイ出張、コープこうべ（協同組合）、旅路の里（釜ヶ崎の歴史や現状）、北淡震災記念公園（防災）、淡路島モンキーセンター（残留農薬の弊害）、山口勝弘（果樹）、北淡中学校交流会、灘小学校交流会＜敬称略＞

タイでの手織り布製品の仕入購入

◆ボランティアとの協働◆

当会の活動に、一年を通してのべ 460 名を超える方々がボランティアとして関わって下さいました。ソディ（タイの手織り布製品を作り手を応援するボランティアグループ）では新商品開発を行い、２名のメンバーがタイ出張に同行し織り手との交流と布製品の仕入れを行いました。

ボランティア参加者数	
事務作業補助・収集物整理等	286 名
日本語復習	102 名
会報発送作業	35 名
翻訳	15 名
ソディ例会	17 名
通訳	7 名
合計	462 名

日本語復習ボランティア

タイの手織り布を作っているグループとソディのメンバー

◆他団体との協働◆

他の国際協力・交流団体等との共催行事の実施、運営参加を通して、協働および情報交換を行いました。また、イベント等にも参加し、当会の活動を幅広く紹介しました。

＜共催・参加イベントなど＞

篠山ナマステ会総会、「小水力発電をミャンマー農村に」研究会、JICA関西青年海外協力隊募集説明会、青年海外協力隊兵庫県OB会総会、はらっぱ総会、生活協同組合コープこうべ総代会、スタディツアー合同説明会、NGO相談員JICA推進員意見交換会、国際協力人材セミナー in 関西、国際協力入門セミナー、開発教育セミナー、多文化共生のための国際理解・開発教育セミナー、サマンタ総会、大阪経済大学ミニフォーラム、グローバルフェスティバル、地球市民フォーラム奈良、JICA関西PCD研修会議、兵庫県有機農業研究会会議、国際ソロプチミスト神戸例会、クトゥンバ来日公演会議、ワンワールドフェスティバル for ユース、草地賢一さん召天 15 年記念会、ワンワールドフェスティバル、関西NGO大学、神戸国際交流フェア、外務省委託NGO相談員、NGO－JICA協議会

＜運営＞

神戸NGO協議会、関西NGO協議会（理事）、コープともしび振興財団（理事）、神戸市地球環境市民会議（委員）、兵庫県ユニセフ協会（評議員）、JICA関西開発教育支援実行会議、NGO／JICA定期協議会

NGO相談員としてグローバルフェスティバルに出席

◆啓発事業促進物の製作・販売◆

タイ・カレンの手織り布製品とネパールの手編み毛糸製品等を、研修旅行先での交流会と県内のバザー等で販売しました。また、販売を通じて当会の活動、国際協力、アジアの村への理解を深めてもらえるよう努めました。

ワンワールドフェスティバル for ユース

＜委託・出店先＞

山梨県／福島幸子（委託）

大阪府／ワンワールドフェスティバル for ユース、ワンワールドフェスティバル、羽曳野小学校

兵庫県／神戸市シルバーカレッジジョイラックデー・学園祭（委託）、加東市連合婦人会、多文化共生のための国際理解・開発教育セミナー、JICA関西「シルクロードは今」、コープ住吉ボランティア交流会、国際ソロプチミスト姫路西「チャリティバザー」、国際ロータリー第 2680 地区「地区大会」、コープこうべ祭 in 住吉、神戸国際交流フェア、国際ソロプチミスト神戸「チャリティバザー」、淡路市国際交流協会（委託）

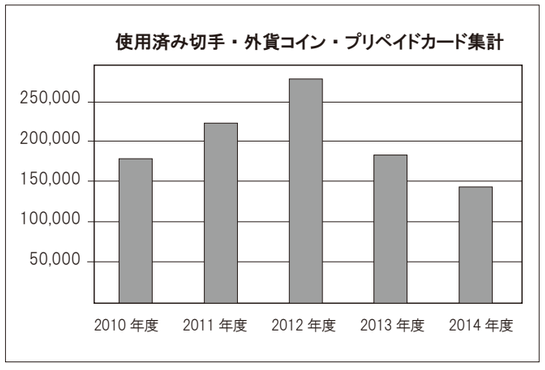
大分県／猫のうたたねぎゃらり一縁（委託）、志賀美織（委託）

鹿児島県／かごしま有機生産組合「地球畑」（委託）　＜敬称略＞

◆書き損じハガキ等の収集◆

ご協力いただいた収集物の換金・相当額は 50 万円を上回りました。使用済み切手と外貨コインは買い取っていただいた後にＰＨＤ基金として積み立て、帰国した研修生の地域活動を応援するために活用します。ハガキは切手に交換し、未使用切手と同様に当会からの各種発送費に、未使用テレホンカードは電話代に充てさせていただいています。

収集物の相当額・換金額集計	
書き損じ及び未使用ハガキ	163,773 円
未使用切手	182,813 円
外貨コイン・使用済み切手	144,400 円
未使用テレホンカード	33,800 円
合計	524,786 円



◆会員数◆

新規加入会員数の目標を達成することができず、2013 年度末と比較し、約50名会員数が減りました。継続したご支援、新たな方からのご支援を得るという課題が残りました。

	新規会員数（目標）	新規会員数（実績）	2014 年度末現在の会員数
終身維持会員	3	3	241 名
PHD会員	20	6	845 名
友の会会員	10	5	328 名
合　計	33	14	1,414 名

2014 年度決算 ■ ■ ■

◆正味財産増減計算報告書◆

自 2014 年 4 月 1 日・至 2015 年 3 月 31 日（単位：円）

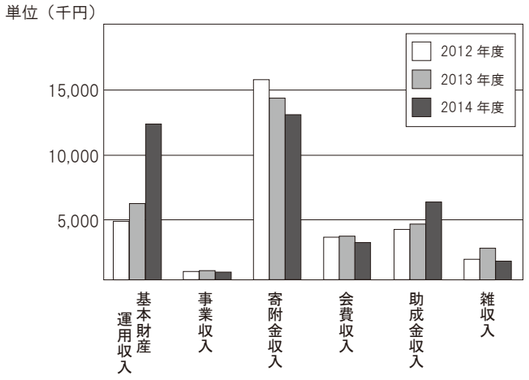
経常収益		経常費用	
科目	決算額	科目	決算額
基本財産運用収入	12,406206	研修事業費	23,794,219
特定資産運用収入	667,916	啓発事業費	7,181,466
事業収入	770,130	管理費	4,209,271
寄附収入	13,172,035		
会費収入	3,429,000		
助成金収入	6,482,029		
受取利息・配当金	2,736		
雑収入	1,545,371		
経常収益計	38,475,423	経常費用計	35,184,956

◆貸借対照表◆

2015 年 3 月 31 日現在　（単位：円）

資産の部		負債・正味財産の部	
科目	金額	科目	金額
流動資産	7,517,380	流動負債	2,137,677
固定資産	306,942,877	固定負債	693,000
（うち基本財産として	274,623,236）	正味財産	311,629,580
	314,460,257		314,460,257

◆過去 3 年間収入比較◆



◆助成金事業◆

■平成26年度 NGO 補助金事業

ＮＧＯの事業実施能力や専門性の向上のため、ＮＧＯの事業促進に資する活動を支援する「国際開発協力関係民間公益団体補助金（ＮＧＯ補助金）」を外務省国際協力局民間援助連携室から頂き、研修事業を行いました。

■平成26年度 NGO 相談員

国際協力分野で経験と実績をもつ日本のＮＧＯが外務省の委嘱で「ＮＧＯ相談員」となり、ＮＧＯの国際協力活動、ＮＧＯの設立、組織の管理・運営など、市民やＮＧＯ関係者からの質問・照会に答える事業を受託しました。国際協力への理解促進のため，地方自治体や教育機関などと協力し、国際協力関係のイベント等において相談業務や講演を行う「出張サービス」を 32 回実施しました。

役員（2015.3.31 現在）

■理事会

理事長	水野　雄二	（公財）神戸ＹＭＣＡ　顧問
理　事	太田　貞夫	（株）神戸新聞社　地域総研所長兼論説委員
理　事	米谷　　収	ライスヴァレーＡ．Ｃ．　代表
理　事	岡田　　徹	兵庫県産業労働部　観光・国際局長
理　事	橋本　一豊	（株）神戸マツダ　代表取締役会長
理　事	松田　高明	神戸市市長室　国際交流推進部長
理　事	安平　和彦	はりま法律事務所　弁護士
理　事	滝澤　功治	神戸海都法律事務所　弁護士
理　事	中村　尚義	（株）淡路第一商事　代表取締役
監　事	田畠　耕一	田畠耕一事務所　司法書士
監　事	山添　令子	生活協同組合コープこうべ　常勤理事

■評議員会

寒者　　恵	元三木市職員　保健師
渋谷冨喜男	兵庫県有機農業研究会　元会長
杉原　一三	篠山ナマステ会　幹事
大工原則子	（公財）神戸ＹＷＣＡ　理事
向井　菊美	国際ロータリー第 2680 地区
納堂　邦弘	内子町地域おこし協力隊員

■運営協力委員

西岡　　強	兵庫県町村会　事務局長
本永　正治	（一社）兵庫県医師会　事務局長
大森　裕之	（一社）兵庫県歯科医師会　事業課課長
堅田　博行	（一社）兵庫県薬剤師会　事務局長
搆　　忠宏	（社福）兵庫県社会福祉協議会　常務理事・事務局長
小林　　武	（公財）兵庫県老人クラブ連合会　専務理事兼事務局長
八木　素子	（一社）ガールスカウト日本連盟兵庫県支部　理事
政井小夜子	兵庫県連合婦人会　事務局長
清水　勲夫	兵庫県青少年団体連絡協議会　副会長
草野誠一郎	神戸商工会議所　産業復興部長
山下　　晃	（一社）神戸銀行協会　常務理事
大西　　巧	（一社）兵庫県信用金庫協会　常務理事
伊勢田佳博	（一社）兵庫県信用組合協会　会計理事
石田　恭一	（一社）兵庫県建設業協会　専務理事
上原　利信	兵庫県森林組合連合会　専務理事
山口　徹夫	兵庫県漁業協同組合連合会　専務理事
柴田　剛介	（公社）日本青年会議所近畿地区　会長
矢形幸之助	神戸キワニスクラブ　福祉広報委員長
伴　　忠道	青年海外協力隊兵庫県ＯＢ会
原　　孝	兵庫県連合自治会　事務局長
大家　重明	兵庫県青年洋上大学同窓会　会長
長嶋　淳平	兵庫県小学校長会　会長
川島　隆司	兵庫県中学校長会　会長
水田　時男	兵庫県立高等学校長協会　会長
坂上　　修	（一社）兵庫県私学総連合会　事務局長
西海恵都子	（株）神戸新聞社　編集局報道部長
中馬　美恵子	国際ソロプチミスト神戸　会長
神吉　道子	高砂にＰＨＤ研修生を迎える会

■事務局

主任主事／事務局長	坂西　卓郎
主 事 補／総務・財務担当	井上　理子
主 事 補／研修担当	今里　拓哉
主 事 補／啓発担当	芳田弓生希

2014 年度　会費納入者名簿（2015.5.31 現在）■ ■ ■

個人情報保護のため氏名は掲載しておりません。
ご了承ください。

当会へのご寄附は、免税・減税の対象となります

当会へのご寄附は、税額控除もしくは所得控除の適応を受けることができます。

＜例えば 20,000 円の寄附をして、確定申告をすると＞

◆税額控除の場合

（20,000 円－ 2,000 円）× 40%＝ 7,200 円[*1] が還付されます。

[*1] 所得税額の 25%に相当する金額を限度とします。

◆所得控除の場合

20,000 円[*2] － 2000 円＝ 18,000 円が所得金額から引かれます。

[*2] 所得金額の 40%を限度とします。

（詳しくは国税庁のホームページをご覧下さい）

ＰＨＤ会員制度のご案内

PHD運動は会員の皆様によって支えられ、
すすめられています。
継続したご支援をよろしくお願いいたします。

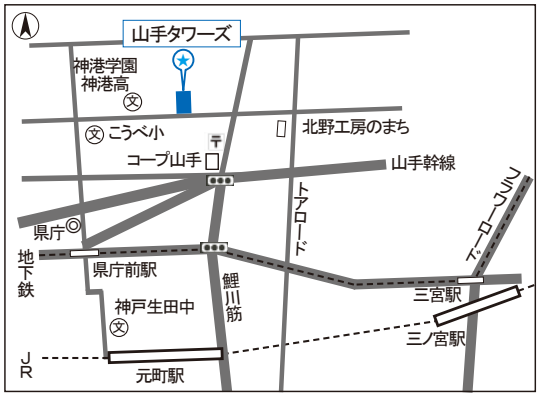
PHD終身維持会員	１口	10 万円（任意の口数）
PHD会員	年額１口	5 千円（任意の口数）
PHD友の会会員	年額	千円以上（任意の額）

会員の皆さまには、会報「PHD LETTER」、
年度事業報告、行事のご案内をお届けします。

お振込み先

◆ゆうちょ銀行
口座番号：01110-6-29688
口 座 名：公益財団法人ＰＨＤ協会

◆三井住友銀行
神戸営業部（500）
口　　座：普通　3210568
口 座 名：公益財団法人ＰＨＤ協会



公益財団法人　PHD 協会
〒 650-0003　神戸市中央区山本通 4-2-12　山手タワーズ 601
TEL 078-414-7750　FAX 078-414-7611